

富士東高校新聞

サンフロント21
特別号



発行
富士東高校
新聞部

地域活性化に取り組む富士宮市議会や富士宮市議会議員の活動について取材した。

輝くふるさとを目指して ～これからの地域を担う中高生～

地元愛をカタチに

地元の活性化のために、中高生が活動している富士宮高校会議所を取材した。

富士宮高校会議所とは

富士宮高校会議所は、

地元の中高生が地域に

参画し、地域の振興を

目指す団体だ。現在30

名程度のメンバーで活

動している。本部を置

く西町レトロ館のある

西町商店街を中心に、

地元の活性化に尽力し

ている。中高生ならで

はの地域活性化に対す

るフレッシュな意見が

数多く生まれる。そん

なアイデアを「カタチ

にする」ことを重視し

ている。また地元の方

も積極的に活動するメ

ンバーの姿を見て、高

校会議所の取り組みを

サポートしている。

廃棄物を利用して

実際に中高生が発案

した地域活性化策の例

として挙げられるのが

「マスマス元肥(げん

び)」だ。これはニジ

マスの食用にできない

部分に朝霧高原の牛の

フンを混ぜて作られた

植物用の肥料だ。富士

宮は養殖ニジマスの名

産地で、日本で一番の

生産量を誇る。生産の

過程で発生する本来は

捨てられてしまうもの

を利用して肥料を作り

うという試みだ。この



次々とアイデアが生まれる

地域づくりを担う若者たち

ここに集まるメンバー

の地域活性化を強く願

う気持ちに心を打たれ

た。中高生の私たちは

地域への参画を求めら

れる存在である。しか

し、自ら地域の課題に

一石を投じる機会を求

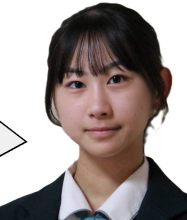
める中高生はそう多く

ない。彼らの活動が、

今後も富士・富士宮の

まちを盛り上げていく

だろう。



10代目会頭
渡井美結さん

挑戦する人にインタビュー!!

富士宮高校会議所の9代目会頭である杉山葉奈さんと10代目会頭の渡井美結さんにお話を伺った。

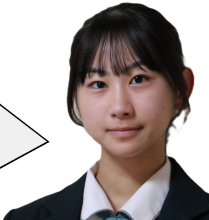
- ①富士宮にどうなって欲しいですか？
②高校会議所の活動についてどう感じていますか？



9代目会頭
杉山葉奈さん

①年々富士宮高校会議所の知名度が上がっていると感じています。私たちの活動を通して若者が自主的に地域づくりに参加するまちなって欲しいです。
②宮踊りへの参加を提案し、メンバーの皆で踊ったことがありました。私たちの参加が富士宮の元気につながったように感じうれしい気持ちでいっぱいでした。

- ①西町商店街をはじめとしたシャッター通りをより活性化させ、今の富士宮をもっと明るくしたいです。
②高校生だけではできないことを事務局長の時田さんの協力で実現できることにとても感謝しています。提案した内容を否定されない雰囲気なので意見を言いやすく、よりよいものが作れるのでとても達成感があります。



10代目会頭
渡井美結さん

若者の活躍は富士市でも 富士市高校生議会 高校生が市政を体験



▲議会は富士市議会の議場で開催

「いただきへのほじの樋口浩一さんにお話を伺った。」
「富士市高校生議会」は、市内高校生が市政について考え、地域の魅力や課題について市当局と意見を交換する場だ。令和6年度からこの取り組みが始まり、第1回目の富士市高校生議会は昨年12月25日に開催された。富士市内全6校から代表者が集まり、3時間に及び、意見の交換が行われた。

「知って好きになる」
今回の議会の開催に携わった富士市役所シテイプロモーション課の「富士市のシテイプロモーションは『知って好きになる』というテーマで行っています。今回の議会を通して、富士市についてのよさや課題などを知ってもらうことができたと思います。この機会をきっかけに、富士市のために行動を起こしてくれたいと思います」と話した。

「富士市のシテイプロモーションは『知って好きになる』というテーマで行っています。今回の議会を通して、富士市についてのよさや課題などを知ってもらうことができたと思います。この機会をきっかけに、富士市のために行動を起こしてくれたいと思います」と話した。



▲発表をする中野さん
富士市の市政に関心を
富士市高校生議会に
参加した中野純一郎さん(富士東高校3年)

笑いで地元を活性化

富士宮高校会議所の活動のひとつ、「笑いで富士宮を元気に」を取材した。

私達から笑顔を届ける

富士宮高校会議所では「持続可能な開発目標(SDGs)」を意識した取り組みが行われている。その一つが、昨年12月24日に開催された「笑いで富士宮を元気に」だ。このイベントはSDGsの目標3の「すべての人に健康と福祉を」を笑いで達成しようと高校生が発案したプロジェクトである。



▲フランボネのお二人とイベントに参加した子どもたち

渡井さんと共に10代目会頭を務める清彩華さんは「拠点として西町はシャッター街を通して、「年齢の垣根です。私達から笑顔を届けて、このまちをより明るくしていきたい」と笑顔で話してくれた。



▲イベントでは子どもたちと漫才教室を行った

お笑いの力で
よりよい社会へ

イベントに参加したお笑いコンビフランボネは3年前に富士宮高校会議所のSDGsの企画に応募し、グランプリを受賞してからこの企画に参加している。フランボネのマヌーさんは「私達は漫才でコミュニケーションを大切にしています。そ

もそも漫才とは2人の小さなコミュニケーションを観客の皆さんに見てもらおうと大きくしていくのです。そんなコミュニケーションは万国万人に共通して伝わります。社会をお笑いの力で変えていきたいです」と語った。今後も笑いの風が富士宮のまちを活性化していくだろう。

まとめ

今回は地元を活性化させようと頑張る中高生について取り上げた。私はこの取材で中高生が地域のために奮闘している場があることを知った。そこには周囲の人々のために活動したいという気持ちを胸に、ひたむきに組み組む姿があった。そんな姿勢を私たちも自分事として捉えていく必要がある。

一人一人が意見を持ち、輝く未来に向けて活動する人が増えることを願っている。

担当 鈴木 悠真
平田 美優
松浦 大翔
渡邊 優唯花

各校のテーマ

吉原高校
富士市の観光

吉原工業高校
富士市の公園の課題

富士見高校
富士駅北口再整備事業と商店街のにぎわい

富士市立高校
いつなんどきでも対応できる保護施設

富士市立高校
市内フードドライブ

富士東高校
岳南電車及びシテイプロモーションを基軸としたまちづくり

(発表順に掲載)
※高校生議会の様子は富士市議会のYouTubeからご覧いただけます。